

平成29・30年度に実施した モデルルートについて

趣 旨

委員会の趣旨・これまでの議論と進め方

○「北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）」では、北海道において、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指しており、サイクルツーリズム等の振興等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進するとともに、施策の推進にあたっては、産学官民連携による「プラットフォーム」を形成することとされている。

○平成29年5月には「自転車活用推進法」が施行

個性的な景観や食など、北海道の魅力を活かしたサイクルツーリズムを推進するため、下記の検討が必要

- 受入環境を充実させるための方策
- 情報提供・サイクリストとのコミュニケーションの方策
- 自転車走行環境を改善するための方策
- 持続的に取組を進めるための体制や役割分担等の実施要綱 等

平成29年2月「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会（事務局：北海道開発局・北海道）」を設立

これまでの議論と進め方

第1回（H29.2.24）

- サイクルツーリズムを取り巻く環境や、委員会の検討範囲と論点、その他方向性を議論
- 検討を実施するために、モデルルートを設定して試行を行うことと整理

第2回（H29.5.16）

- モデルルート設定の考え方の整理、具体的な試行の内容及び各種調査の方法について議論

第3回（H29.6.28）

- H29年度に試行を実施するモデルルートの整理

H29.7～11

H29年度モデルルートにおける試行の実施

試行の準備

第4回（H30.3.19）

- 平成29年度の試行を踏まえた中間とりまとめと今後の方向性について議論

試行の準備

H30.5～11

H30年度モデルルートにおける試行の実施

第5回【今回】

（H30.12.21）

- モデルルート試行の結果について

平成29・30年度に試行を実施したモデルルート



平成29・30年度に試行を実施したモデルルート(体制・取組)

ルート名	きた北海道ルート	石狩川流域圏ルート	阿寒・摩周・釧路湿原ルート	トカプチ400	富良野・占冠ルート
延長	約350km	約430km	約310km	約400km	約180km
活動団体	・宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイ(※両団体連携)	・石狩川流域圏会議(サイクルコースマップ検討ワーキンググループ)	・くしろサイクルツーリズム推進協議会	・十勝サイクルツーリズム研究会	・富良野・美瑛圏広域観光推進協議会(サイクル部会)
構成員	観光協会、商工会、NPO団体等(50団体)	石狩川流域圏の市町村(46市町村)	市町村、商工会、観光協会、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ、サイクリング協会等(26団体)	市町村、総合振興局、商工会、観光協会、NPO団体、旅館関係、サイクリング協会、企業等(52団体)	市町村、総合振興局、観光協会、JR北海道、航空会社、農協等(28団体)
主な取組 ※イベント・モニターツアー・マップ作成は各ルートとも実施	豊かな自然、道と川とJRが並行、広域自転車道(利尻島)等の地域特性を最大活用し、取組を実施	石狩川の河川敷を最大活用しつつ、河川周辺施設(流域)との連携により、取組を実施	釧路空港を拠点として、広域にわたる阿寒、摩周、釧路湿原を安心してサイクリングできるよう、取組実施	帯広駅や帯広空港を拠点として、広大な十勝地域を安心してサイクリングできるよう、取組実施	富良野～美瑛で従来実施してきた取組を、富良野～占冠に拡大して、実施
	・地元木材を利用したサイクルラックを道の駅や稚内空港、JR駅周辺、主要施設に設置 ・JR有人駅に工具設置 ・広域のサイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」 -JRでの自転車輸送や、手荷物の当日配送(運送業者と連携)を実施 ・路線バスへの自転車持込を可能に(宗谷バス(利尻島)) ・タクシー会社による自転車輸送サービス(平和ハイヤー) ・JR駅周辺等におけるレンタサイクルの取組実施	・河川周辺の道の駅や主要施設にサイクルラックや工具等を設置 ・道路だけでなく、河川敷においても、統一されたデザインで案内 ・石狩川流域圏の市町村長が一堂に参加するルート試走会を実施 ・宿泊施設によるレンタサイクルの取組や、工具の提供、客室内ラック(ピパの湯ゆ～りん館新館ANNEX)	・サイクリングの拠点となる釧路空港や道の駅、主要施設にサイクルラックや工具等を設置 ・宿泊施設による緊急時のサポート、工具や洗車施設の提供、客室内ラック(ホテルTAITO) ・タクシー会社による自転車輸送サービス(阿寒観光ハイヤー) ・広域での乗り捨てレンタサイクルの取組実施(釧路～阿寒)	・サイクリングの拠点となる帯広空港や帯広駅(おびくる)、道の駅、主要施設にサイクルラックや工具等を設置 ・一部の道の駅でのタイヤチューブの販売 ・タクシー会社による自転車輸送サービス・緊急時サポート(十勝中央観光タクシー(株)他) ・広域での乗り捨てレンタサイクルの取組実施(帯広駅(おびくる)～十勝川温泉・帯広空港) ・帯広空港～帯広間の手荷物の当日輸送サービス(十勝バス)	・道の駅や主要施設にサイクルラックや工具等を設置 ・富良野～美瑛で実施してきた独自の案内用路面表示を富良野～占冠でも設置(1kmごと・通し番号付) ・サイクリングマップの作成(路面表示と連動した番号記載)